

Bellmark Shimbun

ベルマーク新聞 7月号

発行 公益財団法人ベルマーク教育助成財団 東京都墨田区両国3-25-5 JEI両国ビル9階 〒130-0026 電話 03-5638-2320(代表)
郵便振替口座 00100-7-56035 ホームページ <https://www.bellmark.or.jp/>

「全国1位」表彰式、3年ぶり開催

 ショウワノートのキャンペーンで福岡・久留米市立南小



⑤贈られた図鑑やノートを前に記念撮影。右から4人目がショウワノートの中条宏志社長 ⑥④中条社長から表彰状を受け取る森山幸嗣PTA会長(右) ⑦⑦6年生全員での校歌演奏

協賛会社ショウワノート（ベルマーク番号53）の実施している「ベルマークキャンペーン」の表彰式が3年ぶりに開かれました。2021年に全国1位となった福岡県久留米市立南小学校（宮路康幸校長、児童1114人）で6月14日、同社の中条宏志社長から表彰状と図鑑や絵本、ノートが授与されました。

このキャンペーンは、毎年1年間（1月1日～12月31日）にショウワノート製品のベルマークを集めた点数を競います。全国1位に加え、関東、近畿など日本を8ブロックに分け、各地域の上位3校を表彰しています。第48回となる2021年、久留米市立南小は全国でもダントツの15344点を集めました。前年に4296点で九州・沖縄ブロック1位となったのですが、今回の点数はその3倍以上です。

表彰式はコロナ禍のため、第46回、第47回と2年連続で中止されました。

今回もコロナ禍に配慮して、式への出席は6年生だけ。他の学年は教室のテレビに中継された映像を見るオンライン参加でした。

中条社長はあいさつで、最近注目されているSDGs（国連の定めた持続可能な開発目標）の17ある目標のひとつが「質の高い教育をみんなに」であることに触れ、「1960年にベルマーク運動が始まった当初からずっと追い求めている目標です。自分の学校の備品を充実させ、同時に災害地などへの支援をする仕組みは今も変わりません。これからもベルマーク運動に取り組んでいただきたいと思います」と語りかけました。

表彰状は、中条社長から、宮路校長、森山幸嗣PTA会長に手渡されました。森山会長は「生徒の皆さん、保護者の皆さん、先生たちが学校のため、子どもたちのために何ができるかをみんなが理解して、全国1位をとることができました」と話しました。

児童代表として挨拶したのは小嶋曜暖さんと菊竹愛莉さん。それぞれがお気に入りのノートを紹介し、「たくさんの方が増えて、うれしく思っています。ショウワノートの商品は、子どもから大人まで幅広く使えるよう種類が豊富で、学習になくてはならないものです。これからも南小1000人全員で協力し、ベルマークを集めていけるよう頑張りたいです」と抱負を述べました。

その後、6年生全員が校歌の演奏を披露してくれました。笛の合図から始まり、リコーダー、スネアドラム、鉄琴、ピアノなどの楽器のほか、フラッグも使い、息のあった音色と演技です。フラッグを振る音や足踏みする音も含めて、体育館中に演奏が響き渡りました。

久留米市立南小はPTA活動が盛んで、「心・ひとづくり委員会」の皆さんを中心に、ベルマークの仕分けを年2回、

昼と夜に30人ずつ集まって実施しているそうです。

ショウワノートは現在、第49回のキャンペーンを開催中です。2022年1月1日～12月31日の間にベルマーク財団で検収されたマークが対象で、エントリーの必要はありません。いつも通り財団に送ると自動的に集計されます。

同社はJAXAとコラボして、宇宙をテーマにした新しいジャポニカ学習帳を今年1月から発売しているほか、かつて人気だった昆虫の写真が表紙のものも、学習帳誕生50周年だった2020年に一部が限定復活し大変話題となりました。

今年度も
キャンペーン実施中です



いつものお便り、応募しませんか？

 第37回「ベルマーク便りコンクール」、9月30日締切

ベルマークに関する学校や地域でのお便りの出来栄を競う「ベルマーク便りコンクール」。2022年度も作品を募集しています。締め切りは9月30日（金）です。ベルマーク運動に参加しているすべての団体に応募資格があります。紙のお便り、学校での掲示物、学校HPでのコーナーなど、ベルマークに関して周知を図るものなら形態は問いません。対象は、過去1年以上（2021年10月1日～2022年9月30日）に作成または発行したものです。

応募作品から優秀賞10点、佳作と特別賞（計10点程度）を選び、賞金と額入り表彰状を贈呈します。入選しなかった応募校には、参加賞としてもれなく2000円の図書カードをお送りします。入賞校は11月に財団HPで発表します。作品の送り先は 〒130-0026 東京都墨田区両国3-25-5 JEI両国ビル9階 ベルマーク財団「ベルマーク便りコンクール係」。データの場合は kohou@bellmark.or.jp へのメールに添付してお送りください。

昨年度のコンクールで優秀賞を受賞した作品

他企業と協力して地域貢献＜キリンビバレッジ＞

ダイレックスで第2弾、湖池屋も加わる

ディスカウントストアを展開しているダイレックスが、ベルマーク協賛会社の湖池屋（ベルマーク番号77）、キリンビバレッジ（同54）と共同でキャンペーンを実施してベルマークを集め、佐賀市立高木瀬小学校（松島正和校長、児童851人）に寄贈しました。キャンペーンでは16万8134点が集まり、同校で6月29日に寄贈式が開かれました。

九州を中心に約300の店舗を持ち、佐賀市に本社があるダイレックスは、一昨年に初めてキリンビバレッジと共同でキャンペーンを実施。集まった約11万点を高木瀬小に寄贈しました。今回は、昨秋に第2弾として、湖池屋もキャン

ペーンに加わり、集めたベルマークです。式には、全校児童を代表して6年生145人が参加。16万8134点分の目録を、ダイレックスの多田高志社長が代表児童に手渡しました。多田社長は「寄贈したマークを有効に使っていただき、より豊かな学校生活を過ごしてもらいたい」と式を締めくくりました。

◇

このキャンペーンは、「ベルマークで応募！“おうち時間”充実キャンペーン」と題して、ダイレックスで湖池屋かキリンビバレッジの商品を購入し、1点以上のベルマークをはがきに貼って送ると、抽選で賞品が当たる企画でした。



千葉ジェッツふなばしとタッグ

バスケットボールBリーグの千葉ジェッツを応援しようと、キリンビバレッジが実施したキャンペーンで4万点余りのベルマークが集まり、船橋市立船橋特別支援学校（兼坂尚貴校長、児童・生徒399人）に寄贈されました。

千葉ジェッツのホームタウンは船橋市。地域貢献の一環として、選手が学校を訪れて特別授業をしたこともあり、そうした縁で寄贈先が決まりました。

6月17日、金堀町にある校舎に関係者が多数集まって寄贈式が開かれ、千葉ジェッツふなばしの田村征也社長は「キリンビバレッジ、千葉ジェッツのファンとスタッフ、そして地域のみなさまが集めたベルマークを、ぜひ生徒さんのために使ってほしい」と話しました。

◇

このキャンペーンは「千葉ジェッツと一緒に！千葉応援キャンペーン」と題し、今年2月、千葉県限定で実施されました。キリンビバレッジ商品のベルマークをはがきに貼って応募すると千葉ジェッツの試合チケットなどが当たるとい

ました。また4月に船橋アリーナで開かれた千葉ジェッツの試合でも収集イベントが行われました。



左から、キリンビバレッジ常務執行役員の明月岳人・首都圏統括本部長、船橋市立船橋特別支援学校の兼坂尚貴校長、千葉ジェッツふなばしの田村征也社長

専用台紙で2倍に／沖縄

キリンビバレッジは、沖縄県内の参加団体限定で、専用台紙に貼ったベルマークの点数が2倍となるキャンペーンを実施中です。対象は10月7日（金）までに財団に到着したマークで、専用台紙は1団体5枚が上限です。専用台紙は https://www.kirin.co.jp/area/kinin_okinawagentei_cp/ にあります。

コロナ禍での「居場所づくり」を考える

キューピーみらいたまご財団がオンラインサミット

食に関わる社会課題の解決を目指し、寄付を中心とした支援を展開している公益財団法人キューピーみらいたまご財団が、6月11日に「第10回 地域の居場所づくりサミット」をオンラインで開催しました。この財団は、協賛会社のキューピー（ベルマーク番号07）が食育や子どもの貧困対策などに取り組む団体を助成するため2017年4月に設立しました。昨年度の助成実績は107団体、3763万円です。

サミットは午前と午後の2回開かれ、計200人ほどが参加したそうです。取材したのは午後の回で、助成事業内容の説明や助成を受けた団体による活動報告が第1部、「地域の居場所づくり講座」と題してコロナ禍での子ども食堂の運営について学ぶのが第2部でした。

同財団は2つの助成プログラムを用意しています。プログラムAは食育活動、プログラムBは子ども食堂などの食を通じた居場所づくりがテーマで、それぞれ実践している団体に助成金を支給しています。

第1部は、昨年度にプログラムAの助成を受けた特定非営利活動法人ウイズアイの報告から始まりました。助成対象となった「個別型産後ケア」事業は1年間で54人、延べ70件の利用があったそうです。

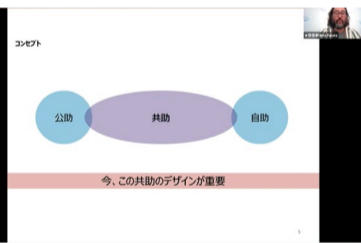
続いて、キューピーみらいたまご財団の古田秘馬理事による講演です。古田さんは初めに、「共助のデザイン」というキーワードを提示しました。「共助」とは、民間や行政が単独では解決できない課題を、新しい領域の組織が解決していくことを指しているそうです。ネットが発達した現状について「個人が世界とつながりやすくなり、共助のデザインもやすくなっている」と解説。そして「暮らしに必要なインフラを提供することが地域のブランドになる時代。食を提供することはその核といえます」と食育の意義を強調しました。

第2部は課題提起から始まり、その解決のために事例紹介や講演からヒントを探っていく形式で進められまし

た。一般社団法人全国食支援活動協力会の平野覚治専務理事が「子ども食堂・居場所の再開に向けて」と題し、コロナ禍で活動する団体をどう支えていけばいいのか、という課題を投げかけました。

それに対応する事例として、くすのき子ども食堂の田所桂子代表と、黒田宏子副代表が発表に立ちました。今年度の助成プログラムBに採択された、大阪府堺市にあるこども食堂です。コロナ禍においても事業を継続していくポイントは「変更・再開・中止などの決断を早く行うこと」だと話しました。

「こども食堂」の名付け親として知られている一般社団法人ともしび at だんだんの近藤博子代表理事による講演もありました。「子どもたちのための活動には学校や病院、自治会、保育園などのつながりが不可欠」とし、「それぞれが出来ることを持ち寄ると、大きな力になる。人と人をつなげる接着剤が『食』だと思います」とまとめました。



当たっても痛くないよ

ミカサ製「スマイルボール」をセノーが販売

協力会社のセノーが、柔らかくてよく弾む「スマイルボール」を販売しています。球技用ボール製造の老舗ミカサの製品で、サッカーやバレーボール、ドッジボール、バスケットボールなど、たくさんの種類が揃っています。

通常のゴム製のボールは重くて固いという難点があります。スマイルボールは、表皮素材にボールを受け止める際の衝撃を和らげるソフトなEVA（特殊スポンジ）が使われています。ピート板に使われている素材と同じだそうです。当たってもあまり痛くないうえ、軽くて扱

いやすいのが特徴。また、汚れても水洗いできるので、お手入れも簡単です。

黄色や青、ピンク、赤、緑など、カラフルな色使いも魅力。スマイルボールを使えば、きっとボール遊びが楽しくなり、子どもたちを笑顔にしてくれることでしょう。

サイズや重量などによって値段は異なり、1000円台～3000円（消費税別）。問い合わせはセノー（フリーダイヤル0120-292-541）まで。



ブラジル人学校、ベルマーク始めたよ!

滋賀・東近江市の日本ラチーノ学院

滋賀県にあるブラジル人学校4校が、今年5月からベルマーク運動の参加校に仲間入りしました。協賛会社のあいおいニッセイ同和損害保険(ベルマーク番号92)がブラジル大使館などの協力を得て3月から始めた「在日ブラジル人学校向けベルマークキャンペーン」に呼応したものです。このうちの1校、東近江市にある準学校法人日本ラチーノ学院を訪ねてみました。

同学院があるのは、鈴鹿山脈のふもとに位置する甲津畑地区。児童減少のために閉校した旧甲津畑小学校の校舎を市から借り受け、2015年に開校。現在1歳から高校3年生まで189人が、県内各地からスクールバスで通学しています。

学校では、実はベルマークのことは誰も知らなかったそうです。でも、あいおいニッセイ同和損保のキャンペーンで、「自分のため」にすることが、「他人(ひと)のため」にもなるのがベルマークだと知り、日頃から子どもたちに説く「ひとのために」という考えに共通していると参加を決めたそうです。

カミムラ・カイオ学院長から先生方と子どもたちへ、ベルマークの趣旨や活動内容が伝えられました。その際、あいおいニッセイ同和損保が作った財団資料『な〜るほど!ベルマーク』のポルトガル語版が大いに役立ちまし

た。「個人のものではなく、皆が使えるものを買う、という目的が定まっているから、理解も浸透もスムーズで早かった」とカイオ学院長。集めた後の仕分け・集計作業も「高学年の生徒がするので問題ない」といいます。

「ベルマークはすぐに資金として活用できるわけではないが、たとえ時間がかかってもよいので、生徒には最後まで関わってほしい。やり遂げることが大事。そして、ボールひとつでも買うことができれば」と、カイオ学院長は子どもたちの活動に期待を寄せていました。

校舎の壁にはポルトガル語に翻訳されたポスターが貼られ、ブラジルの国民的キャラクター・モニカの絵も入った回収箱が各教室の入口に置かれていました。取材した日には、子どもが得意げにベルマークを箱に入れる瞬間に立ち会えました。「国民性でしょうか?すでにクラス対抗の競争が始まっているようだ」とカイオ学院長が笑いながら教えてくれました。



今回の取材は、あいおいニッセイ同和損保代理店の地元支店長、畠中昭夫さんに手配していただき、ポルトガル語の通訳もお願いしました。急な訪問にもかかわらず受け入れてくださり、ありがとうございました。Muito Obrigada! (ポルトガル語で「ありがとうございました」)



①教室で授業を受ける子どもたち ②ラチーノ学院の校舎 ③この日の給食。ビーフストロガノフと豆の煮込みフェイジョン ④初めての習字 ⑤昼休みに職員室にマークを持ってきた児童

東北被災地校にマーク贈って10年

コープこうべのボランティアサークル

生活協同組合コープこうべ(神戸市東灘区、組合員約172万人)は、組合員がボランティアサークルを作ってベルマークを仕分け・集計し、被災地の子どもたちに贈る活動をしています。5月13日に開かれた交流会にはベルマーク財団の職員も出席し、各サークルに感謝状をお贈りしました。

コープこうべは、兵庫県を中心に事業を展開しています。ベルマークのボランティアをしているのは第1地区(川西市・宝塚市・伊丹市・尼崎市・猪名川町)の9つのサークルです。東日本大震災の発生後、「ベルすみれ」「チーム菜の花」などのサークルが立ち上がり、ベルマークを収集・仕分け・集計して、緑のあった宮城県の気仙沼市立松岩小学校と南三陸

町立伊里前小学校に送付してきました。過去10年で、寄贈したベルマークは累計159万点にのぼります。

交流会は、コープこうべの第1地区本部で開かれ、普段は別々に活動している各サークルの代表とメンバー計15人が出席しました。会では、まずこれまでの東北支援についての経緯報告がありました。震災が発生したその日のうちに、組合員から支援の問い合わせがあり、そこから話し合いを重ねたそうです。阪神・淡路大震災を経験した身として他人ごとではない、あの時の恩返しをしたい……子どもたちを支援したい一心だったという当時の心境が語られました。

店に回収箱を置いて収集を呼びかけるとともに、仕分け・整理するボランティ



感謝状を手に集合写真

アを募集したところ、複数のサークルが結成されました。参加者も増え、作業も進んだことから寄付は毎年欠かさず続け、現地を訪問したこともあるそうです。

続いてベルマーク財団職員が、運動の現況や寄贈マークの活用方法について説明しました。参加者からは「長いこと仕分けはしていたが、今回初めて運動の全体像が分かって良かった」「海外も支援しているとは知らなかった」などの感想

があがりました。

交流会を主催したコープこうべ職員のかいろう 戒能竹子さんは、「ベルマークの活動は今年で12年目となりました。今回、ボランティアの皆さんに労いの言葉をいただき、大きな励みとなりました」と話しました。サークルのメンバーは「目立ちたいわけでもなく、淡々とコツコツと今まで通り作業するのみ」と、今年度も活動を継続していくと語ってくれました。

一輪車スキル、2時間で大幅アップ

和歌山・高野町立花坂小で一輪車講習会

和歌山県の高野町立花坂小学校(田所勝美校長、児童9人)で6月22日、ベルマーク財団が主催する一輪車講習会が開かれました。この日は、同県かつらぎ町立梁瀬小学校(山田真穂校長、児童4人)と合同での開催となりました。一輪車講習会は財団がへき地校支援のために実施しており、この日が今年度初めての開催でした。

講習会は、田所校長の「今日は児童みんな、待ちに待った一輪車講習会で本当に楽しみにしていました。この秋にある運動会で、みんなで一輪車の技が披露できるようにしたいです」というあいさつから始まりました。

この日の講師は、日本一輪車協会の公認インストラクターの佐藤彩香さんと、2020年の全日本一輪車競技大会ソロ演技の部アーティスティック部門チャンピオンの小木真由子さんです。

午前9時30分から、花坂小と梁瀬小の児童合わせて13人が体育館に集まり



ました。インストラクターの二人は自己紹介したあと、模範演技を披露しました。小木さんのソロ演技では、初めて目の前で見る華麗な演技にみんなうっとり。その後の「片足タイヤ乗り」「スピン」「アイドリグ」などの様々な技にも、大きな拍手がわきました。

児童たちの手を取っての実技指導では、講師から「初めはつま先に力を入れて乗ってみて」「足の太ももとお腹に力を入れてみて」とアドバイスがありました。体育館の壁伝いなどは先生方にも補助してもらいながら、練習を繰り返しました。

講習の最後に、児童代表が「講師のお

二人にアドバイスしてもらい、できなかった技もできるようになりました」と、感想を伝えました。講師は子どもたちに「みなさん今日で大変上手になってくれました。これからも、みんなで教えあいながら続けて練習してください」と話しました。



災害のしくみをおもちゃで再現

奈良市立六条小で防災科学教室

奈良市立六条小学校(中嶋郁雄校長、児童630人)で6月24日、ベルマーク財団と国立研究開発法人防災科学技術研究所(防災科研)が共催する防災科学教室が開かれました。講師はおなじみDr.ナダレンジャー。対象は2、3年生約200人ですが、密にならないよう人数を分け、1回45分の教室を計3回開くことになりました。

金髪カツラに鼻メガネという怪しい格好のナダレンジャーは、実は防災科研の研究者・納口恭明さん。名の通り雪崩が専門で、防災や科学の普及に長年携わって来ました。ピンクのカツラの助手ナダレンコは防災科研の樽優子さんです。

教室は、午前に4クラスある2年生を2クラスずつ、午後は3クラスの3年生をまとめて開かれました。朝、会場に最初の2年生たちがやってきます。ナダレンジャーは入り口でお出迎え。予想もしなかったその出で立ちに、「えーっ」「オニみたい」と子どもたちはびっくり。

強い風をピンポイントで作る「突風マシン」、雪崩が

迫る様子を観察できる「ナダレンジャー0号」などの小道具を披露すると、子どもたちは大喜び。みんな体験したくて「はい!」「はい!」と伸び上がるように手を挙げます。そこでナダレンジャーの決めゼリふ。「楽しそうに見える実験だけど、規模が大きくなると、みんな吹っ飛んでしまう。ちっちゃいからおもちゃなんだけど、大きくなると災害です」

地震のときに起きる地盤液状化現象を再現するおもちゃ「エッキー」や、地震の揺れ方を学べる「ゆらゆら3兄弟」も披露しました。さらに発泡スチロールのブロックを台車に高く積み、揺らす実験もしました。子どもたちが頭を抱えて構える上に、大歓声とともにブロックが崩れ落ちました。

午後の3年生の教室が終わると、2人は変装を解き、素顔を見せました。「実際に起きたら災害は怖い」ことを忘れずにいてもらうため、いつもそうなのです。おもちゃは楽しくても、災害は現実には起きたらとても怖いことを、ぜひ覚えておいてください。



④一斉に挙手 ⑤発泡スチロール製のブロックを使った実験

「本の帯創作コンクール」 募集締切は9月3日

小学生が本の帯をつくる、第18回大阪こども「本の帯創作コンクール」(大阪読書推進会、朝日新聞大阪本社、日本出版販売労働組合主催)が、作品を募集中です。賞の中にはベルマーク賞もあります。

締切は9月3日(消印有効)。入賞作品の一部は実際に帯として製品化され、書店に並びます。応募要項などの詳細は大阪府書店商業組合のHPにあります。



走り方やサッカーのコツを習得 ミズノ・スポーツ教室、募集中

ベルマーク財団のソフト事業「教育応援隊」のプログラムのひとつ、ミズノ・スポーツ教室「走り方」「サッカー」の開催校を募集しています。小中学校を対象に、専門のコーチを各学校へ派遣。校庭や体育館で、実技を中心とした2時間程度の指導を行います。

大人数でプロの指導を受けられる教室として、特に「走り方」が人気です。過去の開催校からは、「コツをつかんで走るのが楽しくなった」「走るのが速くなった」という子どもたちの喜びの声や、「苦手意識を持っていた子が走るのを楽しみようになった」「指導方法の勉強に



なった」という先生方の声が多数届いています。基本的に9月以降の開催ですが、ミズノの担当者とは相談の上、前倒しも可能です。申込受付は先着順です。まずは財団に申し込み状況をご確認ください。その後、財団HPにある申込書に必要事項を記入して、FAXか郵送してください。開催が決まったらベルマーク預金から3万円(別途消費税2700円)を支払っていただきます。

ベルマーク寄贈者・友愛援助リスト(敬称略)

〈マーク寄贈者〉5月21日～6月20日

北海道 千葉絵実 向田由美 亀岡聖善 谷一美 古川尚子 里見順子 長濱啓子 匿名希望 ▼岩手県 (株)ニコニコ総合企業 ▼宮城県 相田真史 岩崎亮子 匿名希望 ▼秋田県 伊東久美子 ▼山形県 奥山俊 阿部幸子 内山幸江 ▼福島県 根本大陸 石井日彩 ▼茨城県 牛久花子 佐藤たか代 常陸太田市社協 石塚英和 沼尻かつ子 前野恵一 ▼栃木県 キヤノン(株)宇都宮事業所 荒川裕紀子 益子町農地水多面的機能保全推進協議会 荒井 阿相正裕 成沢美奈子 齊藤里佳 匿名希望 ▼群馬県 吉井百合子 相馬晃子 損害保険ジャパン(株)群馬支店 関晶 小倉ゆり 表みえ 櫻場まき子 匿名希望 ▼埼玉県 笹本理恵 藤井雅子 増田朋美 河田希和子 北村朔太郎 菊地正志 高橋武雄 野沢剛 折原理恵子 土本喜美 山口萌美 吉田礼子 匿名希望 ▼千葉県 太田美千子 小関亨子 中園令子 関田元子 伊橋悦子 大川成子 佐久間純子 藍場英光 大森実 相模裕美 下村真理 三井住友信託銀行津田沼支店 柏マルイ・柏モディダイバーシティ&インクルージョン 阿部真也 前田美春 八木原直江 平野嘉一 小倉ゆり子 田淵奈保子 細谷圭美 明治安田生命保険相互会社 匿名希望 ▼東京都 信田明子 伊藤トシ子 大石久恵 鈴木弘 丹羽啓達 宮下桜 森博三 六郷美佐子 若林佐智子 及川ミヤ子 (株)ドリームファクトリー 竹野明子 日本テトラバック(株)・御殿場テトラバック(同) 林田雅子 平塚山城官寺 伊坂都子 石井美智子 磯由美子 伊藤啓子 井上陽子 大村宣子 金子環 (株)栃木屋 (株)東一インス 神田電業(株) 栗田 白井みゆき 杉本由里子 橋淳子 内藤安次郎 長峰美津江 広末きみ子 富士野虎美代 水上奈緒美 (株)ジャルバック WHIP2021年度SDGs分科会一同 さうらべ 中島裕子 (株)光洋 Y.M. 市川佳世子 今泉暁子 佐藤京子 妻島 日本基督教団小金井緑町教会 三井マリ子 三村臣子 中村ミキ子 丹羽瑛子 物産住宅メンテナンス(株) 頼光 昭和電子(株) 田中広幸 吉崎忠宏 (株)グランドエステート 牛尾勝美 道下

健作 J&J 愛をささやく JetB(株) (株)アート・ユニオン (株)共同土木東京工場 (株)ミライト 東京東信金庫篠崎支店 直江成子 中村三千代 成合良夫 パナソニックコネク(株)社員有志一同 パナソニックライフソリューションズ労組津支店東日本総合支店 匿名希望 ▼神奈川県 川崎久美子 長坂こずえ ヨネクラリエ 大宮敏江 (株)日産クリエイティブサービス 厚木支店 倉澤利夫 高橋好子 西村晴美 狭間裕子 松永 水口洋美 吉岡恭子 伊藤美恵子 上杉末美 大園啓子 神奈川県タイガーマスク (株)ジェイテクト 小暮喜代子 田中奈緒 辻本裕司 蓮見亜弥子 横溝俊江 足柄上医師会訪問看護ステーション 石黒孝子 須田眞代子 よしだけんいち 伊藤有希子 井上明生 江口早苗 枝広智恵子 社会福祉法人翔の会 畑中恭子 遠藤照子 中山朋美 宗藤純子 モスバーガー秦野店 湯山鈴代 内藤智子 伊藤聡美 小林美佳 石黒琢一郎 (株)アサヒビール フィールド神奈川事業所 品田匠 全富士通芳連 柳下和子 匿名希望 ▼新潟県 伊藤美和子 エルメック電子工業(株) 丸山由美子 たから保育園 沖村真理子 地域密着型複合施設わしま ▼富山県 浅倉妙子 三井恵美 甲田あゆみ 岩田宏子 銀の車輪 ▼石川県 金沢ローターアクトクラブ キリスト教福音宣教会主の栄光教会北陸支部 島崎裕 池田知子 (株)中島商店 日本航空(株)小松空港所 ▼福井県 刑部文江 ▼山梨県 吉田博 赤池綾子 宮澤繁子 ▼長野県 福沢美恵子 清水町子 ▼岐阜県 奥原たかし 井貝未奈 中嶋洋子 生津小学校 中嶋悦子 磯部裕子 西垣洋子 ▼静岡県 上田浩昌 塚田けいこ 島中将也 夢入 岳南有機(株) 浅賀千恵美 諏訪二三代 山本典男 池田豊治 村田正弘 匿名希望 ▼愛知県 岩坂麻美 岩田知代 春木 村瀬昭男 加藤 加藤沙緒莉 加藤総子 高畑穂子 堀部悦子 H. N 岩森 浦野浩子 落合昌彦 川北敦子 小林貴嗣 杉山清美 田辺空楽 土井玲子 村田かおり 杉本徳子 西川端保育所 金田正子 (株)山下板金塗装 佐藤千恵子 立石 松永尚登 宮地千年 豊通物流(株) 匿名希望 ▼三重県 高田星来 竹

田雅子 パナソニックライフソリューションズ 労組津支店 倉田 東山正紀 藤原あづさ 小林清久 ▼滋賀県 山口亮 井沼弘子 ▼京都府 (株)ホンダ販売山本 木村知子 渡辺智美 上茶谷礼子 西山直美 (株)Com-Fill 匿名希望 ▼大阪府 仲川洋子 浅田和子 稲益康秀 大喜多俊子 岸本栄子 坂出昭美 新田文子 福田幸代 石田外茂江 白濱亜子 棚田泰子 戸出悦子 西村裕美 木村秀子 三宮愛子 大西貞子 中村有木子 プリズトンタイヤサービス西日本(株)タイヤサービス港店 (株)ヤマイチテクノ SDGsプロジェクトチーム 石澤雅子 野村慎吾 枚方市社協 深澤美穂子 匿名希望 ▼兵庫県 坂尻朋子 大谷 岩田めぐみ 福山 ゆいな 小笹誠二 福永幸子 川戸峯子 三道香央里 長田奈美子 (株)研文社 榎本一美 生垣製麺 柳原貴久恵 矢里スミ子 Y. I 瀧脇八重子 三木市市民生活部市民協働課市民交流係 金子英美 ▼奈良県 森川昌代 森田眞司 中畑和美 堀田幸代 宮崎新嗣 ▼鳥取県 サトウ 福田浩美 ▼島根県 横山正紀 ▼岡山県 鳥越多美子 石原和子 匿名希望 ▼広島県 川本真利江 益田珠江 亀井恵子 黒川マキ子 松尾真希 今清水真衣 ▼山口県 福島ゆかり 山本恭子 匿名希望 ▼香川県 高橋千嘉 西日本電信電話(株)香川支店 匿名希望 ▼愛媛県 四国中央市立新宮公民館 ▼高知県 高橋かおり 中山 匿名希望 ▼福岡県 熊田吉子 武田綾奈 井口喜代子 内山佐代子 八津田小読みきかせグループ <どっこいしょ> 本田由子 佐藤常実 河東小第1学童保育所 實藤正善 池田嘉子 ▼佐賀県 土井香 ▼熊本県 須郷優一 中村智津子 ▼大分県 安部湧子 井上義雄 ▼宮崎県 矢野君子 ▼スギヤマ薬品 伊達直人 小野 ForteConsultancy (HK) ▼無記名 = 124件

〈友愛援助申し込み〉6月1日～6月30日

◆群馬県 はるな保育所(高崎市) ◆千葉県 富里幼稚園(富里市) ◆東京都 多聞小(世田谷区) ◆岡山県 水島中(倉敷市)

大台達成校

6月		
一宮小	高松市	9,008,259
富陽小	石川県野々市市	6,031,713
鎌田小	福島市	5,019,340
大原小	千葉県いすみ市	5,029,534
岩木小	青森県弘前市	3,022,161
認定こども園聖ヨゼフ幼稚園	栃木県日光市	3,007,789
有馬小	川崎市宮前区	3,020,077
山辺小	長野県松本市	3,047,326
大道小	大分市	3,001,879
東小	北海道帯広市	2,012,349
江見小	千葉県鴨川市	2,020,410
伏古北小	札幌市東区	1,012,369
尾崎小	秋田県由利本荘市	1,006,802
城山小	東京都八王子市	1,013,493
長柄小	神奈川県葉山町	1,012,373
友洲中	大阪市都島区	1,007,728
越ヶ浜小	山口県萩市	1,005,859

コンクール応募、教室申し込み
お待ちしております

